

令和3年度 自己評価 報告書

令和4年3月31日

学校法人いずみ学園 いずみ幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・よい子は きまりをよくしましょう。
- ・よい子は やさしいところになりましょう。
- ・よい子は じょうぶなからだになりましょう。

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

ECEQに学び、園内での公開保育による研修を深める。研修テーマ『一人ひとりが主体的に園生活を過ごしていくための保育環境を探る。気になる幼児の主体性を引き出す視覚支援を活用した保育の在り方』
園内公開保育・振り返りの研修に、園外より上越教育大学附属幼稚園主任教諭を招いて、共に研修し助言指導を頂く。

3. 評価項目の達成及び取組み状況

評価項目	評価	取組み状況
教育の質向上や同僚性を高めることを目的とした園内研修を充実させる。 今年度の研修テーマについて内容を理解し、幼児の主体性を引き出す保育が行われたか。そのための保育の工夫・幼児理解に努める。	A	6月～12月にかけてFCEQのSTEP1～5の計画を立てて取り組んだ。 ドキュメンテーション作成、問い作り、公開保育、保育の振り返りと、教諭一人一人が深く考え実践し、同僚との話し合いの中で幼児理解に努めた。当園の良さについて以下のように助言をいただいた。 「園内の雰囲気がとても良く振り返りからつながりを感じた。先生たち同士で子供の育ちをフラットに話し合える関係性が出来ている。私は〇〇していた、〇〇だと思う等、自分自身の体験や関わりを話しているところが非常に良い。振り返りの内容にも研修の成果がよく表れていた。園内研修を設けていることが素晴らしい。」
気になる幼児の主体性を引き出す資格支援を活用した保育の在り方を探る	A	気になる幼児の行動をじっくり観察し、幼児は何に困っているのか、どのような環境設定が必要なのか、丁寧に分析していく。写真やエピソードを用いて幼児の生活について語り合い、どのような視覚支援が必要か考え工夫し実践する。その環境の中で幼児にどのような変化が表れ、主体的に園生活を楽しむようになったか、園内公開保育の振り返りを行い、共通理解した。
活動の見直しや計画、保護者参観の仕方の見直しなど、コロナ感染症対策の取組みについて考える	A	コロナ感染症対策についての取組みを実践する中で、行事・衛生面等について日々の保育の中で意見を交わし合ってきた。特に密にならない工夫について考え実践し、効果があった。

(A:十分成果があった B:成果があった C:少し成果があった D:成果がなかった)

4. 今後取り組む課題

課題	具体的な取組み方法
情報公開の方法	現在、園だより・クラスだより・参観日・ポートフォリオなどを通して保護者への周知を行っている。またホームページの更新も随時行っている。今後も続けていく。
認定こども園に向けての取組み	園児数の低下を視野に入れながら、0歳児からの受け入れ態勢について様々な角度から十分に検討していく。